

一般社団法人
日本水景協会設立40周年記念事業

水景 in Future シンポジウム

パネルディスカッション

水景との関わり方
～これからの10年を考える～

2018年5月28日(月曜日)

15:00-17:00

基調講演

仁木 洋子氏 (株式会社イルミナティ 代表取締役)

パネルディスカッション

植田 直樹氏 (株式会社三菱地所設計 都市環境計画部 ランドスケープ設計室長)

菊田 宏志氏 (森ビル株式会社 設計部 設計監理部 監理2グループ 外構担当 担当課長)

河尻 和佳子氏 (流山市役所 マーケティング課 メディアプロモーション広報官)

鳥村 登氏 (株式会社ウォーターデザイン 営業部 営業課 課長)

■主催

一般社団法人 日本水景協会

■協賛

一般社団法人 日本公園緑地協会
公益財団法人 東京都公園協会
一般社団法人 ランドスケープコンサルタンツ協会
一般社団法人 日本造園建設業協会
一般社団法人 日本公園施設業協会
一般社団法人 日本運動施設建設業協会
一般社団法人 東京都造園緑化業協会
日比谷公園ガーデンニングショー実行委員会

■定員

入場無料
定員100名(先着順)

■場所

アルカディア市ヶ谷
(私学会館)



【プログラム及び出演者プロフィール】

🕒 15:00 ● 開会挨拶／これまでの40年の振り返り

🕒 15:15 ● 第1部 **基調講演**



株式会社イルミナティ 代表取締役

仁木 洋子氏

空間演出デザイナー／プロデューサー。ライティングオブジェ制作委員会代表。経済産業省日本のデザイナーデータベース japan-designers.jp。熊本市生まれ。多摩美術大学卒業。人に夢と感動を与えるジャンルを超えた幅広い企画デザインが特徴で、世界展開のモーターショーブースデザインなど海外や東京圏に加え、地方の仕事もバランスを保ちながら積極的に行なっている。ブランディングからデザインまで担当したDiDi与那国交流館では日本最西端の島の集客交流施設として注目され「ディスプレイ産業優秀賞2017」、「経済産業省審議官賞」を受賞、明治神宮での「明治天皇百年祭～心のあかり」特別参拝のデザイン優秀賞など受賞多数。ライフワークとして2006年から丸の内アートチャリティー「ライティング・オブジェ」展を主催し、2011年から東日本大震災復興支援を、2016年から熊本地震復興支援を、多くのアーティストの協力を得て、被災地の人々とのつながりを大切にしながら続けている。昨年秋には、熊本・宇城市で「世界文化遺産・三角西港築港130周年記念夜間景観演出」のデザインを寄贈。

🕒 15:45 ● 第2部 **パネルディスカッション**



アサンテ環境研究所 代表 一般社団法人日本水景協会設立40周年記念事業実行委員長

竹尾 敬三氏

平成17年にアサンテ環境研究所を設立し、代表に就任。水環境を中心に水に関わる地方創生、再生可能エネルギーの課題可決に取り組んでいる。広域の水質改善や小水力発電の調査実施設計を中心に日本国内をはじめ、ミャンマー、ベトナムなど東南アジアでも活動を展開している。地元の意向を取り入れた計画を作成することを主体に最適案を導くことを目標としている。同時に後継者としての若手技術者育成活動も行っている。水景士、技術士（農村環境）、第1種電気工事士、1級土木施工管理士。



株式会社三菱地所設計 都市環境十画部
ランドスケープ設計室長

植田 直樹氏

平成元年に三菱地所に入社後、地域開発や環境アセスメントなどの業務を経て、都市部を中心とした再開発プロジェクトの都市景観やオープンスペースの計画に取り組み、丸の内地区においては仲通りの街路整備をはじめ、新丸ビル、一号館広場、ハレスホテル東京、大手町ホトリアなどのランドスケープを手がける。横浜みなとみらいのグランモール公園では、再整備の基本計画から実施設計までを担当。登録ランドスケープアーキテクト（RLA）。技術士（都市および地方計画）。



森ビル株式会社 設計部 設計監理部
監理2グループ 外構担当 担当課長

菊田 宏志氏

昭和63年森ビル株式会社に入社。企画開発部を経て平成10年より設計部外構担当に。愛宕グリーンヒルズ・六本木ヒルズ・虎ノ門ヒルズ他で設計・監理に携わり、ランドスケープだけでなく道路やブリッジなど都市のインフラ作りにも仕事の領域が及んでいる。竣工後も施設の運営や管理にアドバイザーとして参加しタウンマネジメント・バリアフリー・安全安心等の観点からランドスケープの在り方について悩める日々を送る。



流山市役所 マーケティング課
メディアプロモーション広報官

河尻 和佳子氏

民間企業で14年間、営業、マーケティング等を担当。流山市のまちを売り込むための任期付職員公募に応募し、前例のない自治体マーケティングの道に入る。首都圏を中心に話題となった「母になるなら、流山市。」広告展開や、母の自己実現を応援する「そのママでいこうproject」、年間14万人を集客する「森のマルシェ」の企画・運営などを手掛ける。講演、執筆ほかTV、ラジオ、雑誌等メディア出演多数。



株式会社ウォーターデザイン 営業部
営業課 課長

鳥村 登氏

株式会社ウォーターデザイン、営業部に所属する。水景施設の設計・デザイン・施工等について10年以上の経歴を持つ。建築・造園を問わず日本全国にて様々な水景施設に携わってきた経験を持ち、現在も2020年以降の東京を見据えつつ精力的な活動を展開している。日本水景協会においては次世代を担う中心となるべく、各社間の垣根を越えた情報共有や若手会員の能力向上をけん引している。水景士。

🕒 17:00 ● 閉会

申込方法 シンポジウムへの参加ご希望の方は、下記項目をご記入の上、Eメールにてお申し込みください

- ①氏名：
- ②会社/所属：
- ③電話番号：
- ④Eメール： ※
- ⑤懇親会 参加有無：
(会費1,000円/一般)

事務局宛Eメール： suikei@jala.gr.jp

※日本水景協会からのイベント等ご案内をメールにてさせていただきます。
※ご記入いただいた個人情報は、個人情報保護法に基づき適正に管理いたします。

一般社団法人日本水景協会設立40周年記念事業実行委員会事務局
TEL:03-3505-5711